

事務事業名		芸術文化鑑賞事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業				
政策体系	政策名	0 3 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目				
	施策名	1 1 生涯学習の推進				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	0 3 学習活動の促進				01	02	01	13	04
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 不詳 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	協働まちづくり部市民文化会館				A 政策事業 B 施設整備				
	課長名	熊谷 善男				C 施設管理 D 補助金等				
	係名	芸術文化係	電話 0192-26-4478			E 一般(A～D以外)				
	担当者	木村 亮	内線 450							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
・市民に芸術・文化の鑑賞機会を提供する事業。主な事業内容は、次のとおりである。 ①児童生徒芸術文化鑑賞事業の開催(年に1回、小学生・中学生交互に、市民文化会館でクラシックコンサート、狂言、児童劇などの鑑賞を行う。) ②劇団四季「こころの劇場」小学生無料招待事業の開催(隔年、小学校5、6年生を対象に劇団四季によりミュージカルを鑑賞する) ・事業費は、児童の送迎バスの借り上げ費用等に支出される。				総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
児童生徒芸術文化鑑賞事業「楽しい音楽会」(小学校5・6年生) ※新型コロナウイルス感染症の影響で中止		ア	鑑賞事業開催数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
児童生徒芸術文化鑑賞事業「在日米陸軍軍楽隊コンサート」(小学校5・6年生)		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市内児童生徒		名称	
		単位	
		カ	市内児童生徒数
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
優れた芸術文化に触れる、豊かな感性を育成する。		名称	
		単位	
		サ	アンケートで鑑賞した内容が楽しかったと回答した生徒児童の割合
		シ	アンケートでまた公演を観に行きたいと回答した生徒児童の割合
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
児童生徒の豊かな感性が育成される。 市の芸術文化が振興する。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	0	0	89	150	89	150
		一般財源	千円	0	0	617	690	617	690
		事業費計(A)	千円	0	0	706	840	706	840
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	90	90	90	90	90	90
		人件費計(B)	千円	360	360	360	360	360	360
		トータルコスト(A)+(B)	千円	360	360	1,066	1,200	1,066	1,200
⑤ 活動指標		ア	回	0	0	1	1	1	
		イ							
		ウ							
⑥ 対象指標		カ	人	2,186	2,154	2,100	2,100	2,100	
		キ							
		ク							
⑦ 成果指標		サ	%	-	-	85.0	85.0	85.0	
		シ	%	-	-	85.0	85.0	85.0	
		ス							

事務事業ID	0854	事務事業名	芸術文化鑑賞事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	優れた舞台芸術等鑑賞の機会を提供し、児童生徒の豊かな感性を育成するため。開始年度は不明。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	市民文化会館の自主事業が実施されるようになったことから、当事業では対象を児童生徒のみとした。 平成26年度から小学校5、6年生を対象に、隔年で劇団四季による無料招待事業が行われている。(令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止) 全校、全学年を対象に実施することが多かったが、新型コロナウイルス感染症対策のため、また、学年の幅が広いと演目の選定に限りが生じることから、対象学年を小学校5、6年生に限定する(児童生徒の制約を考慮して見直し)。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	鑑賞した生徒から、新たに興味を持った、自分たちの活動に取り入れたい等の感想が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 児童生徒の豊かな感性を育成することは、豊かな心を育む人づくりの推進に結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 当市は、芸術文化活動の中心地域である大都市圏から遠隔地にあり、市民の日常生活の中で舞台芸術等の鑑賞する機会が限られていることから、市がその機会の提供を図る必要があるため、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象や意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ ニーズにあった実施演目の導入等により、成果を向上させる余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 生の舞台芸術を鑑賞し豊かな感性を育成できる貴重な機会であることから、事業を廃止した場合は、芸術文化の振興に影響が出る。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 市民文化会館による自主事業と併催することにより、事業実施に係る公演料等の削減余地がある。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 市民文化会館による自主事業と併催することにより、事業実施に係る人件費の削減余地がある。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 受益者(児童生徒)負担金を徴収しており、公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																				
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	一般向けの鑑賞事業については、市民文化会館の自主事業が実施されていることから、今後においても実施不要であると考えられる。 当該事業との合同での開催、あるいは統合により、経費の削減を図る。	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下		×	×
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
成果	向上	●																				
	維持		×																			
低下		×	×																			
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																						
県青少年劇場や文化庁、県芸術文化協会等が実施している事業や市民文化会館自主事業等の活用・連携により、事業費の削減に努める。また、市内小中学校毎でも開催できるよう、芸術文化鑑賞事業の情報提供を継続していく必要がある。																						

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	芸術文化係が市民文化会館へ移管となったことに伴い、市民文化会館の自主事業と統合し、芸術文化鑑賞事業として実施する。